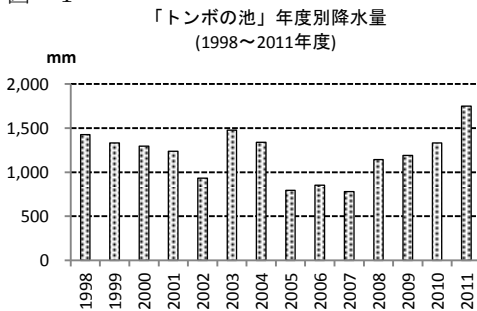


## 2011 年度「トンボの池」の降水量と水深

白木 茂 (自然遊学館わくわくクラブ)

図-1

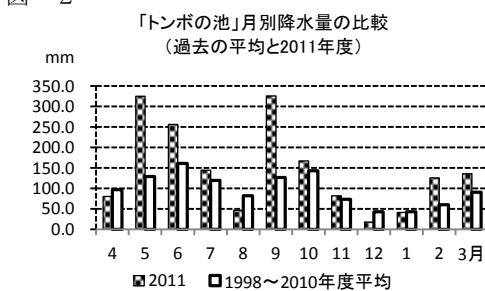


### ●よく雨が降りました、年間 1,749mm

「トンボの池」は「天の恵み」雨水で維持されています。この雨水の量を知るため 1998 年から転倒柵型雨量計を設置し降水量を計っています。

2011 年度の「トンボの池」では、図-1 のように観測を始めてから最も多い降水量を記録しました。1 年間で 1,749mm の降水量は、少なかった年度(2005、2006、2007 年度)の 2 倍以上で、雨の少ない瀬戸内海式気候の貝塚市としては非常に多い値です。

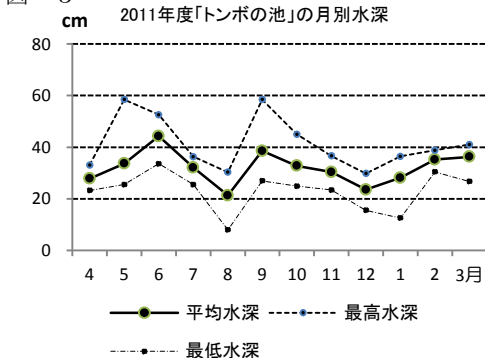
図-2



### ●5月と9月の雨量は、例年の2倍以上でした

過去の月間降水量の平均と 2011 年度のそれを比較したのが図-2 のグラフです。例年雨の多い 5 月、6 月、9 月に平均値を大きく上まわり、冬期にもたくさんの雨が降りました。

図-3



### ●「トンボの池」の水深は平均 32cm でした

図-3 は、「トンボの池」の水深を月別に最も深かった水深 (最高水深)、最も浅かった水深 (最低水深)、日ごとの水深の平均値 (平均水深) を 3 本の折れ線で示したものです。雨の多かった 5 月と 9 月の最高水深は 58.5cm で、ほぼ満水状態となりましたが、8 月と 12 月、1 月には水深が 20cm を下回り、湿地状態となったため、地下タンクに溜めてあった雨水を補給し、水深を 30cm 台としました。

図-4

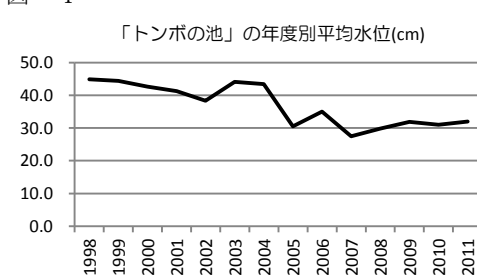
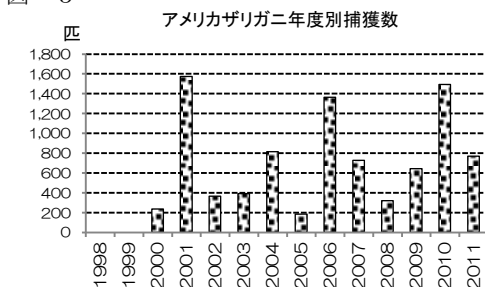


図-4 は、年度別の平均水位の変化です。2007 年度までは、年間降水量とよく似た変化が見られましたが、その後は、ほぼ 30cm で推移し、多雨を記録した 2011 年度も大幅な増加は見られません。図-3 と 4 から考えると、40cm 以上の側壁からの漏水の可能性が考えられます。

図-5



### ●アメリカザリガニを 800 匹、捕まえました

アメリカザリガニはヤゴ (トンボの子ども) の天敵です。4~5 年周期で大発生し、2011 年度は中規模の発生でした (図-5)。池の底を複雑につくったため、捕獲には苦勞しています。